

# 中之島メーデー2016



## メーデーの起源は？

1886年、当時の合衆国・カナダ職能労働組合連盟が「8時間労働」制を要求してゼネラルストライキに持ち上がりました。

スローガンは「第1の8時間は労働のために、第2の8時間は休息のために、そして最後の8時間は俺たちの好きなことのために」というものでした。

それまでの労働時間は12～14時

間が当たり前だったので。

しかし8時間労働がなかなか実現しない中、ついに、ストは毎年5月1日に行われるようになり、1890年には世界の労働組合に波及、第1回の国際メーデーが実施されました。

今、政府は、8時間労働制の破壊をもくろんでいます。130年も後戻りさせてはならない！

## 青年部 だより

### RENTAI FESTA 2016

## 子供たちにより良い世の中を残したい！

初めてレンタifestaに実行委員として参加しました。私の担当は受付だったのですが、いつもの全港灣の動員では、参加者の年齢が高いように感じていました。しかしレンタifestaに関しては、ゲストの力もあると思いますが、若い世代の人が多くおり、驚きました。

彼らのような青年層の参加者は、はじめはゲスト見たさだけで来ていたとしても、フェスタの進行に伴って、日本で現在起きている様々

な問題と触れることになり、問題意識が芽生えるのでは、と思いましたが、



同時に、子どもたちと関わる事ができる空間が私に力を与えてくれました。大阪支部は今回、「キャラクターすくい」を行い、

その店番などもして、子どもたちの無邪気で元気な様子を見ました。そして、この子たちが大人になった時に、落胆するような社会にならないよう、私たちが今のうちから、組合活動や社会活動に精力的に参加し、進行している社会の荒廃に歯止めをかけるよう努力しなければなりません、心から思いました。

来年も参加したいと思う、よい経験ができました。

大阪港埠頭ターミナル分会  
市川佳介

# だんけつ



## 2万人が怒りの結集！

3月29日、安倍政権によって強行成立させられた、憲法違反の「戦争法」が施行されました。この国を海外で戦争する国にさせない決意を表明するため、5月3日、扇町公園にて「5・3おおさか総がかり集会」が開催されました。

各政党や労働組合、市民団体、個人参加など、2万人もの人びとが結集し、安倍政権の暴挙に心からの怒りを表明しました。

この日、東京では5万人が集まり、全国各地でも60年安保闘争、70年安保闘争より広範に集会・デモが行われました。

集会では大阪弁護士会会長の山口健一さんがあいさつ、民進党、共産党、社民党、生活の党からもそれぞれ連帯スピーチに立ち「野党は共闘」の思いに応えました。

リレートークでは大学生、高校生、安保関連法に反対するマ

マの会など、若い人たちが、自らの言葉で日本国憲法の大切さと、憲法をないがしろにする安倍政権を選挙で変えようと訴えました。

昨年、戦争法案に反対する全国の運動は大きく高揚しました。この波は衰えることなく現在まで続いており、参加者は戦争法を絶対に発動させないとの決意を、「野党は共闘」とのスローガンに込め、参議院選における各選挙区での候補者一本化に結実しつつあります。

### さらに大きな行動を！

私たち労働組合は、市民団体や戦争法に反対する個人と連帯して、安倍政権を追いつめなければなりません。

戦争法廃止2000万人統一署名、全国各地におけるデモンストレーション、そして、こう

した運動をさらに強めるために6月5日、東京における「戦争法廃止！安倍政権退陣！参議院選挙勝利！6・5国会包囲大行動」に連帯して、大阪では梅田ヨドバシカメラ前にて「戦争法廃止！反貧困・格差是正、参院選野党勝利、安倍政権退陣」の大集会が開催されます。

この集会をなんとしても成功させ、参院選で安倍政権が企てている「改憲発議のための3分の2議席確保」目標を阻止し、さらには安倍政権を退陣に追い込みましょう。

戦争法廃止！  
改憲を許さない！  
原発の再稼働反対！  
福島の子供たちの帰還強制反対！  
産業を破壊するTPP締結阻止！  
参議院選では、  
野党候補を勝利させよう！  
(執行部 陣内)

# 日朝友好なにわのつばさ2016

## はじめて触れた朝鮮民主主義人民共和国

書記次長 小林勝彦

4月27日～5月3日の7日間（実際は、悪天候により8日間となる）、「日朝友好なにわの翼2016」のメンバー10名が朝鮮民主

主義人民共和国を訪問しました。訪朝団を迎え入れ、滞在期間中、ずっと案内して頂いたのは「朝鮮対外文化連絡協会」李河進（リ・



義人民共和国を訪問しました。私は、その団の一員としてはじめて共和国に触れることになりました。

関西空港での27日の出国の際、日本政府（大阪税関）による不当な弾圧を受ける所からこの旅は始まりました。噂には聞いていましたが、「制裁」という名の敵視丸出しのやり方に、いきなり不愉快な気持ちにさせられました。国交がないため、中国・北京経由での平壤入りということで、隣国でありながら「近くて遠い国」となっている現状も不快に感じました。

28日、北京の朝鮮民主主義人民共和国大使館にてビザ申請・発行がなされ、夕方、平壤に到着しま

ハジン）研究員と桂成訓（ケ・ソソフン）課長です。

移動中のバスで桂成訓さんから、5月6日に36年ぶりの労働党第7回大会が行われることと、大会に向けて70日キャンペーンの最中だと説明を受けました。

### 日本での映像と相違

滞在中、都市部や地方、農村部等を訪問しましたが、日本で放送されている「貧しい北朝鮮」イメージとは大きく異なっていることを自らの目で見ました。建物や市民の生活の様子、特に農民や工事現場の労働者は、生活に困っている



ようには全く見えませんでした。それどころか、休日の牡丹峰（モランボン）公園で家族や職場の仲間が、歌や踊りを楽しみながら持ち寄った料理を食べている姿は、忘れられた日本の古き良き時代を思い起こさせるものがありました。

私には、社会主義がいいのかどうかを巻単位は判断できませんが、少なくとも現在の日本資本主義の中で、一握りの独占資本家が政治家と手を組んで国民を支配していることと比べると、間違いなく見習うべき点は多いと感じました。

現在、世界ではアメリカを中心とした同盟国が、アメリカの意に添わない他国を「悪者」に仕立てあげて圧力をかけています。共和国に対して日本のメディアは、悪意を持って“ロケット”を“ミサイル”とねじ曲げ、核兵器を大量に持つアメリカが、共和国の水爆

実験を批判して、「核放棄」を迫り、経済制裁を行う暴挙を、あたかも正義であるかのように発信していること自体、極めておかしいことだと思います。

### 日本は大丈夫なのか？

日本では、“被爆国として、すべての核はダメ”とか“拉致を行う国”などとの非難があるが、まず、自国の戦争できる国造りや「原発」という名の核保有などの政策を変えられずに、他国の批判ができるのだろうか？と思います。過去には、侵略戦争、従軍慰安婦、強制連行等の数々の悪行を行い、それを正当化する歴史教育、こうしたことについて私たちは深く考え、変えていかなくてはならないと思います。

今回の訪朝は自分の目、耳、そして心で共和国に触れ、事実を知ることができました。これは、私のこれからの労働運動への取組み方に大きな意味を持つと思われます。具体的には、反差別・国際連帯・国際平和運動に、更なる努力と行動をしていかなければならないと思っています。



朝鮮労働党創立記念塔



牡丹峰（モランボン）公園



平壤（ピョンヤン）駅



金成桂（キムソングジュ）小学校

大阪支部ホームページ <http://www.zenkowan-osk.org/> [QR Code]